

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 教育支援体制整備事業費（認定こども園設置促進事業）補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 総合支援第一係 電話番号：058-272-1111(内8658)

E-mail：c17782@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,300 千円 (前年度予算額：6,843 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,843	6,843	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,300	10,300	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

県内の感染状況を踏まえ、子どもの健康と安全と、感染症対策として、国の予算を活用し、公立幼稚園において購入する子供用マスクや消毒液等の費用、感染症対策を徹底するために、必要なかかりまし経費（感染症対策の取組徹底による業務量増への対応）等を支援する。

(2) 事業内容

- ①新型コロナウイルス感染症対策を実施するために、市町村が公立幼稚園へ配布する保健衛生用品（マスク、消毒液等）や備品の購入等の費用を補助。または、感染症対策を徹底するために必要なかかりまし経費への支援（感染症対策の取組徹底による業務量増への対応）。
 - ②指導要録等の書類作成業務や園児の登降園管理等、業務のICT化促進の支援。または、ICTの活用による教育の質の向上を図るために必要な費用の支援。
- ※市町村への交付（①は、店員に応じて1園当たりの上限額を設定（最大500千円）、②は1施設当たり最大750千円）

(3) 県負担・補助率の考え方

- ①国負担 1/2、市町村負担1/2
- ②国負担 3/4、市町村負担1/4

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,300	実施市町への補助金
合計	10,300	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン
 - 基本方針3 未来を切り拓くための基礎となる力を育む教育の推進
 - 目標1.8 人間形成の基礎を培う幼児教育の充実

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

各公立幼稚園において子供用マスクや消毒液等を購入し、新型コロナウイルス感染症防止の取組の徹底を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症に対応する事業であり、指標の設定になじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	マスクや消毒液、その他の消耗品等を公立幼稚園に配布することにより、各園における新型コロナウイルス感染症防止の取組を推進することができた。
令和 3 年度	マスクや消毒液、その他の消耗品等を公立幼稚園に配布することにより、各園における新型コロナウイルス感染症防止の取組を推進することができた。 また、業務のICT化が促進されたことにより、業務の改善が図られたり、ICTの活用による教育の質の向上を図ることができた。
	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	新型コロナウイルス感染症対策は喫緊の課題であり、抵抗力の低い幼児のために保健衛生用品等を提供する必要がある。また、幼稚園教諭の業務量が増加しているため、その対応が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	各園における新型コロナウイルス感染症防止の向上につながる事業となっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	各教育事務所及び市町村教育委員会の担当者と密に連絡・調整が取れる環境を整えている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 感染状況による予算措置の充実。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の収束後、本事業は廃止。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	